

「自助の心構え」新たに ～松本市で防災シンポジウム開催！～

国土交通省松本砂防事務所、松本市、松本広域連合、北アルプス広域連合は共同主催で平成19年1月21日（日）にまつもと市民芸術館において「防災とボランティアの日」シンポジウムを行います。

平成7年1月17日におきた「阪神・淡路大震災」をきっかけに、ボランティア活動や市民の自発的な防災活動について、その重要性を広く認識し市民一般に普及、啓蒙するために平成10年から毎年松本市内にて開催しております。

今回のテーマは「自助の姿勢」と題し、このシンポジウムをとおして、市民に防災について考えていただき、一人一人の災害に対する心構えを考える機会にしていきたいと思います。

また特別企画では明善中学校による「中学生のさと山活動報告会」を行います。生徒たちは里山での学びをとおして、どうしたら土砂災害のない山や川になるかを考えています。この発表会で私たち大人に対しても『「山を守る」＝防災』について、気づかなかったことを教えてくれることと思います。

ぜひ沢山の方に見ていただきたいと思いますので、どうぞお越しください。



平成18年「災害時に役立つ応急手当」の様子



平成18年のシンポジウム
「特別企画 小さな子どもたちの発表会」の様子

発表記者クラブ
松本記者クラブ

問い合わせ先：
国土交通省 北陸地方整備局
松本砂防事務所 副所長 田邊
0263-33-1115（代表）

「防災とボランティアの日」

'07 シンポジウム

"Day of disaster prevention and volunteer" symposium.

■講演

「平成18年7月豪雨災害」

「平成18年7月豪雨災害の概要」……………平松晋也 ●信州大学 農学部教授

「平成18年7月豪雨が残したもの」……………小口 廣明 ●岡谷市 花岡区長

「これからの災害対策について」……………松本久志 ●長野県 土木部 砂防課 技術幹

■パネルディスカッション

「自助～自らできる減災について～」

【パネリスト】

平松晋也 ●信州大学 農学部教授

加藤忠義 ●NPO法人「梓川流域を守る会」事務局長

市民の方

【コーディネーター】

松井美幸 ●TSBテレビ信州 アナウンサー

【コメンテーター】

植野利康 ●国土交通省 北陸地方整備局 松本砂防事務所長

[特別企画]

中学生の「さと山」活動報告会

災害におどろいて「私が被災者じゃあ、あなたが被災者じゃあ」。

POSTURE THAT HELPS ONESELF

自助の姿勢。

2007
1.21日

開場 | 12:45 開演 | 13:15～16:30

まつもと市民芸術館 | 小ホール 入場無料

長野県松本市深志3丁目10番1号 TEL.0263-33-3800

もしもの時に役に立つ! プレ講座①AM.10:00～定員30名
■小ホール前特設会場

【災害時に役立つ応急手当】

もしもの時に役に立つ! プレ講座②AM.11:00～定員30名
■小ホール前特設会場

【松本地域 防災スクール～災害に備えよう防災講座～】

主催■国土交通省 北陸地方整備局 松本砂防事務所／松本市／松本広域連合／北アルプス広域連合

後援■長野県／社団法人砂防学会／社会福祉法人長野県社会福祉協議会／長野県治水砂防協会／信濃川・姫川水系砂防工事促進期成同盟会／長野県消防機器協会 中信支部
／長野県警報設備協会 中信支部／NPO法人「梓川流域を守る会」／松本砂防スペシャルエンジニア／松本砂防会／社団法人北陸建設弘済会

「防災とボランティアの日」シンポジウム事務局

【国土交通省 北陸地方整備局 松本砂防事務所内】長野県松本市元町1丁目8番28号 tel.0263-33-1115 fax.0263-33-6086

「防災とボランティアの日」

07 シンポジウム

"Day of disaster prevention and volunteer" symposium.

自助の姿勢。

POSTURE THAT HELPS ONESELF

災害において、私ができること。あなたができること。

平成18年7月19日の早朝。未曾有の降雨により松本市に隣接する岡谷市において、複数の溪流から土石流が発生しました。いずれも集水面積の小さな沢の最上流部で起きた崩壊による土砂と、大量の雨水が相まって、溪床と溪岸を著しく侵食しながら、木立を巻き込み流木を含む流れとなって発達、流下し甚大な被害を与えました。今後、こうした非多雨地域においても砂防堰堤などのハード対策の他、地域住民と地元行政機関の災害に関する綿密な繋がりを維持するためのソフト対策についての重要性を再認識することとなりました。平成19年「防災とボランティアの日」シンポジウムでは「自助の姿勢。」をキーワードに、行政と地域住民がどのような意識を持つべきなのか、「自助・共助・公助」のそれぞれの立場から考えていきます。

講演

「平成18年7月豪雨災害」

「平成18年7月豪雨災害の概要」……………平松晋也 ●信州大学 農学部教授

「平成18年7月豪雨が残したもの」……………小口廣明 ●岡谷市 花岡区長

「これからの災害対策について」……………松本久志 ●長野県 土木部 砂防課 技術幹

【特別企画】

中学生の「さと山」活動報告会

●松本市在学の中学生のみなさん

パネルディスカッション

「自助～自らできる減災について～」

【パネリスト】

平松晋也

●信州大学 農学部教授

加藤忠義

●NPO法人「梓川流域を守る会」事務局長
・安曇地域自治区長(旧安曇村助役)

市民の方

【コーディネーター】

松井美幸

●TSBテレビ信州 アナウンサー

【コメンテーター】

植野利康

●国土交通省 北陸地方整備局 松本砂防事務所長



↑平成18年7月豪雨で起きた、土石流や流木約2,000立方メートルを捕捉した砂防堰堤。(岡谷市・ヒライシ沢)



●平松晋也氏／農学博士・信州大学農学部教授

昭和56年愛媛大学卒業。平成17年1月 信州大学農学部教授。平成17年5月 社団法人日本地すべり学会中部支部・副支部長。平成18年4月 信州大学大学院総合工学系研究科博士課程担当。平成18年6月 社団法人砂防学会理事及び社団法人砂防学会研究開発部会部会長を歴任。



●加藤忠義氏／NPO法人「梓川流域を守る会」事務局長・松本市安曇地域協議会長

昭和36年4月安曇村役場に就職。以降、議世事務局長、観光商工課長、総務課長。平成9年 安曇村教育委員会教育長。平成15年5月 安曇村助役。平成17年4月 合併により設置された安曇地域協議会会長を歴任。

2007

1.21日

開場 | 12:45 開演 | 13:15~16:30

まつもと市民芸術館 | 小ホール 入場無料

長野県松本市深志3丁目10番1号 TEL.0263-33-3800

※会場には駐車場がございませんので、最寄りの公共交通機関または有料駐車場をご利用ください。



大雨が降ったら早めに避難! 12:45 先着100名様

簡易雨量測定器を差しあげます。

土砂災害の多くは雨が原因で起きます。雨量が1時間で20mm以上、降り始めからの合計が100mmを超える場合は十分な注意が必要です。12:45から先着100様に、簡単に雨量が測定できる簡易雨量測定器を差しあげます。

同時開催

もしもの時に役に立つ! プレ講座① AM.10:00~定員30名

もしもの時に役に立つ! プレ講座② AM.11:00~定員30名

■小ホール前特設会場

■小ホール前特設会場

【災害時に役立つ応急手当】

【松本地域 防災スクール~災害に備えよう防災講座~】

会場展示「松本市が考える防災対策展示コーナー」

松本広域圏は、美しい観光資源に恵まれた一方で台風、豪雨、大雪、火山災害などの被害も受けやすく、これまで多くの尊い人命や大切な財産を失っています。松本市としては住民の方々に適切な防災情報を伝えた確かな対応を施していきます。さらに住民の方々も自立的に災害に備えていただくことにより被害を最小限に抑止することができます。防災対策が一層確かなものになるよう住民と行政が一体となった災害対策に万全を期すべく松本市がわかりやすくその防災対策をご案内するコーナーです。

平成18年7月 豪雨 写真展

■長野県提供 / 平成18年7月豪雨がもたらした県内各地の傷跡。長雨が続けばどこにでも起こりうる土砂災害と、災害に見舞われた地域からの警鐘です。

「防災とボランティアの日」シンポジウム事務局

【国土交通省 北陸地方整備局 松本砂防事務所内】長野県松本市元町1丁目8番28号 tel.0263-33-1115 fax.0263-33-6086